

公共政策プログラムまちづくり政策コース

コースの目的

まちづくり政策コースは、まちづくりに係る政策課題に対する解決策を、データや調査結果等の幅広いエビデンスを用いて立案する能力を持つ人材を養成することを目的としています。

ディプロマ・ポリシー

まちづくり政策コースで、学生が身に付けるべき資質・能力の目標は次のとおりです：

- ① まちづくりに係る政策に関し必要な専門的知識を持ち、課題を分析して問題点を抽出できる能力
- ② 公共政策に関する幅広い知識を持ち、学術的な知見に基づいて、データや現地調査結果等の様々なエビデンスを用いた分析・評価を行い、多角的に問題点を分析できる能力
- ③ 分析した政策課題について、その結果に基づいた政策立案(EBPM)ができる能力
- ④ 政策立案の成果を、政策提言として発信できる能力

カリキュラム・ポリシー

【必修科目】

まちづくり政策コースにおける「政策論文演習」では、まちづくりに係る政策課題に関する研究成果のまとめに向けて、関連する専門分野の知識をより深く修得するとともに、適切なエビデンスを用いた分析・評価を行い、その結果に基づいた政策立案、政策提言ができる能力を養成します。

【選択必修科目】

選択必修科目では、公共政策に係る幅広い知識と、学術的な知見に基づいて多角的に政策分析ができる能力を修得します。

【コース指定科目】

コース指定科目としては、「ミクロ経済学Ⅱ」、「計量経済学の応用と実践」、「費用便益分析の応用と実践」、「都市政策の法律基礎」、「まちづくり政策事例特論」を指定しています。選択必修科目である、「ミクロ経済学Ⅰ」、「計量経済学」、「費用便益分析」等の科目を併せて履修することを想定しており、これにより、EBPMの実践に必要な知識を体系的に修得します。また、「都市政策の法律基礎」では、まちづくりに係る課題解決に必要な関連法律

の知識を学びます。さらに、「まちづくり政策事例特論」では、まちづくりの現場における課題解決の実例について学び、政策課題に即した解決策を考察する力を養います。「費用便益分析の応用と実践」、「まちづくり政策事例特論」においては、講義に加えて、ディスカッションや特定のテーマに関する分析・評価結果の発表も行い、政策立案能力、立案した政策を発信できる能力を養成します。

【研究指導】

学生の個別指導では、主指導教員及び副指導教員の複数名体制での研究指導を行います。

アドミッション・ポリシー

求める学生像

国・地方自治体職員、独立行政法人職員や、公共部門と連携する企業の職員、コンサルタント、不動産鑑定士や建築士といった専門家、非営利組織職員等で、都市政策、住宅・建築政策のほか、環境、教育、労働、福祉といった広くまちづくりに係る政策課題について、EBPM の実践に意欲を有する方を受け入れます。

審査方法及び審査基準

【第1次審査】

出願書類に基づく審査を行います。

【第2次審査】

第1次審査の合格者に対してオンラインで面接を行います。書類選考で必要と判断された者には課題提出を課す場合があります。

本人の職務経験、推薦者の評価内容、政策課題についての理解や目的意識、学習意欲などを総合的に判断して決定します。

カリキュラムマップ： 公共政策プログラムまちづくり政策コース

			ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②	ディプロマポリシー③	ディプロマポリシー④	ディプロマポリシー④
区分	科目番号	科目名	① まちづくりに係る政策に関し必要な専門的知識を持ち、課題を分析して問題点を抽出できる能力	② 公共政策に係る幅広い知識を持ち、学術的な知見に基づいて多角的に政策分析ができる能力	③ まちづくりに係る政策課題について、データや現地調査結果等の様々なエビデンスを用いた分析・評価を行い、その結果に基いた政策立案 (EBPM) ができる能力	④ 特定の政策課題についての分析・評価と、それに基づく政策提言を発信できる能力	⑤ 多様な価値観や文化に対して深い理解を持ち、グローバル社会における政策立案の中核を担うことができる能力
区分I 必修科目	PPP1000J	研究技法基礎		○	○	○	
区分II 選択必修科目	ECO1000J	ミクロ経済学Ⅰ		○	○		
	ECO1050J	マクロ経済学		○			
	ECO2700J	計量経済学		○	○		
	ECO2710J	費用便益分析		○	○		
	ECO3000J	ミクロ経済学のビジネス実践		○			
	GOV2100J	政策過程論		○			
	GOV2520J	行政の改革・革新と政策評価		○			
	GOV3100J	政策マネジメントの実践		○			
	GEN5020E	The World and the SDGs		○			○
	GEN5030J	GRIPS ForumⅠ		○			○
	GEN5040J	GRIPS ForumⅡ		○			○
	IPR1020J	民法の基礎		○			
	MOR1030J	データサイエンス基礎		○	○		
	MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅰ		○	○		
	MOR2000J	計画と評価の数理		○	○		
	MOR2020J	実践データサイエンス		○	○		
	MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅱ		○	○		
	PAD3100J	EBPM概論		○	○		
	REG1200J	行政法の基礎		○			
(コース指定科目)	ECO2000J	ミクロ経済学Ⅱ		○	○		
	ECO3700J	計量経済学の応用と実践		○	○		
	ECO3760J	費用便益分析の応用と実践		○	○	○	
	PAD1100J	都市政策の法律基礎	○	○			
	PAD3120J	まちづくり政策事例特論	○	○			
	DEV2140J	景観・デザイン論	○				
	DEV2150J	都市学の理論と実践	○				
	DEV2160J	社会基盤整備のPPP/PFI	○				
	DEV2180J	水圏国土学	○				
	DRM2050J	気象と災害		○			
	DRM3010J	災害対策各論Ⅱ		○			
	ECO2000J	ミクロ経済学Ⅱ		○			
	ECO2020J	政府と市場		○			
	ECO2600J	経済政策の理論と展開		○			
	ECO2900J	ゲーム理論		○			
	ECO3104E	Policial Economy		○			
	ECO3330J	都市政策の空間分析	○	○	○		
	ECO3440J	世界経済の見方:国際的政策協調の中で		○	○		
	ECO3750J	経済シミュレーション分析		○			
	ECO3870E	Agricultural Development		○			
	ECO3890E	Development Econometrics		○			
	ECO3920E	Economic History and Institutions		○			○
	GEN3000E	International Development Policy		○			
	GEN4000J	政策研究演習		○			
	GEN5050E	Social Issue Workshop: Lessons from Japanese Experiences		○			
	GEN5060E	Social Issue Workshop for Business-Driven Innovation		○			
	GEN5070E	Workshop on Policymaking for Sustainable Development		○			
	GEN5080J	サイバーセキュリティ		○			
	GEN5090J	AI政策実践論		○			
	GOV1200J	国際協力論		○			
	GOV2110J	日本政治と理論分析		○			
	GOV2205J	国際政治経済		○			
	GOV2230E	Japanese Foreign Policy		○			
	GOV3110J	政策デザイン論		○			
	GOV3280E	Analysis of Great Power Politics		○			
	GOV3500J	経済社会統計の整備と課題:国際的整備の潮流と日本の対応		○	○		
	PAD2000J	気候変動と地域社会		○			○
	PAD2040J	中小企業経営と地域経済		○			
	PAD3110J	都市政策演習	○	○	○	○	
	MOR3010J	数理モデル分析演習		○			
	REG2310J	地方自治と行政学		○			
		上記以外の授業科目		○			
区分Ⅹ その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目				○	